



祝賀会



天童市文化団体協議会設立50周年記念祝賀会

平成26年5月17日の天童市文化団体協議会設立50周年記念祝賀会において、記念公演として藤間流師範である藤間乾さんが祝舞「日本舞踊清元 青海波」を披露しました。



いあこわし

天童市文化団体協議会

会長 辻 輝彦

昨秋に開催された第51回市民芸術祭は、次の半世紀の節目である第百回市民芸術祭に向け、大いなる第一歩を踏み出した市民芸術祭の祭典となりました。時あたかも、今年の夏には市民文化会館の耐震補強工事が完成し、今秋開催予定の第52回市民芸術祭では、益々パワーアップした芸術文化活動が展開されるものと期待しております。

また、平成28年には、県民芸術祭の開闭幕式典が本市で開催されることになっており、本市にとつては、「第18回国民文化祭やまがた2003」以来十年ぶりに訪れた、芸術文化の時代の到来と位置付けても過言ではないと思っております。

こうした折も折、東京都では、2020年の東京オリンピックに合わせて、東京を世界的な芸術文化都市へと飛躍させるための基本指針「東京文化ビジョン」の素案を発表いたしました。その内容は、榊添知事が「東京五輪は、文化面でも史上最高の大会にしたい。」と述べているように、第一段階として、「東京舞台芸術祭」を新たに開催し定着させたいとあって、それを「東京芸術祭」に発展させるという壮大なものであります。

「文武二道」という言葉がありますが、「文」を広く「芸術文化」としてとらえ、このような世界的な動きと軌を一にして、本市においても、是非、「スポーツ」と一緒に、芸術文化の振興についても、全市を挙げて取り組んでいただければ幸いに存する次第であります。

なお、当協議会は、今年四月一日から、これまでの「天童市文化団体協議会」から「天童市芸術文化協会」に名称を変え、次の五十年に向け、連合体として、これまで以上に、広く、深く、篤く本市の芸術文化の振興に携わっていくことになりましたので、新たな天童市芸術文化協会の更なる発展と本市の芸術文化の振興のため、行政や加盟団体はもとより、六万天童市民の皆様方の篤いご支援とご理解を切にお願い申し上げます。



平成26年に文化団体設立50周年を迎えるにあたり、記念誌「歩み」を発行しました。

50年間の天童市の芸術文化のあゆみや、各文化団体の記録、「未来をつくるために」というテーマで行われた座談会等が掲載されています。

天童市文化団体協議会とは…

天童市内で活躍する文化団体が連携を図り、文化活動の健全な発展と、地域文化の振興を図ることを目的として、「天童市民芸術祭」の運営や「天童市芸術文化振興基金」を活用した市民の芸術文化活動の支援を行っています。

～文化団体としての動き～

平成24年10月	第20回市民創作劇場「オペラガラコンサート」
平成25年 3月	天童市文化団体協議会広報誌「きらめき」第1号創刊
平成25年 5月	天童市文化団体協議会総会においてシンボルマーク決定
平成25年 9月	天童市民芸術祭50回記念事業 「てんどうアートフェスティバル」開催
平成26年 5月	天童市文化団体協議会総会において、 平成27年度から「天童市芸術文化協会」に変更することが決定

〒994-8510 天童市老野森1-1-1
天童市市民部文化スポーツ課 芸術文化係 電話023-654-1111 内線262

平成26年度 天童市文化団体協議会加盟団体

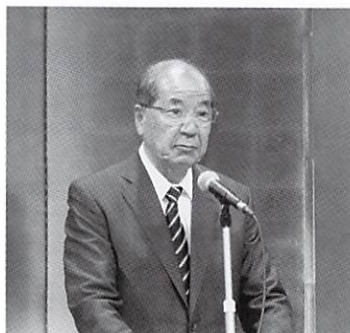
番号	団体名	代表者	番号	団体名	代表者
1	村山美術	遠藤昭吾	25	天童俳句会	黒沢道子
2	宝樹社	伊藤有光	26	天童なつメロ愛好会	奥山領一
3	らくがき会	伊藤正輝	27	舞踊連盟鳳舞会	松若寿恵玲
4	天童短歌会	高橋宗伸	28	天童市野草と親しむ会	佐藤定四郎
5	天童市合唱団体連絡協議会	工藤俊孝	29	クラシックバレエしらゆり会	矢作葵
6	若葉の音楽会	秋保博	30	川東民謡連合会	清野昭松
7	ビッグ・スウィング・フェイス	阿部豊明	31	日本将棋連盟天童支部	村岡良雄
8	天童市書道連盟	鈴木千岳	32	天童広重研究会	辻輝彦
9	全日本写真連盟天童支部	渡部潔	33	箏愛好会(箏慶会)	宮本伶慶
10	天童梅若亀弘会	松田充弘	34	天童市大正琴愛好会	斎藤正子
11	天童緑鳳会	安喰邦男	35	赤松盆友会	会田清
12	乾ふじ会	藤間乾	36	天童押し花サークル	山口静子
13	佛向寺踊躍念佛保存会	井澤隆徳	37	天童市伝承芸能保存団体協議会	山口清志
14	高掬聖霊菩提獅子踊保存会	岡崎俊雄	38	天童春蘭愛好会	細矢金一
15	天童維新軍楽隊保存会	山口清志	39	天童ハワイアンクラブ	東海林仁
16	天童市詩吟愛好会連絡協議会	高梨正義	40	天童歌謡クラブ	丹野政敏
17	天童市茶華道連合会	佐野宗鶴	41	龍翔会	龍連山
18	天童郷土研究会	湯村章男	42	能楽あ字門の会	森川慶子
19	吉田大八会	矢吹海慶	43	日本画竹馬会	設楽雅信
20	天童盆栽愛好会	黄木紘友	44	天童ジュニアオーケストラ	増川のぶ子
21	日本盆栽協会天童支部	瀬野文義	45	パッチワークサークルドリームコットン	安孫子夏江
22	天童民謡寿菁会	伊藤完一	46	天童菊の会	五十嵐友一
23	雑誌「天童」	鈴木実	47	YCBクリスタルサウンズ	原田恵美子
24	天童市プラス・オルケスター	佐藤由美子			

天童市文化団体協議会 設立50周年記念祝賀会

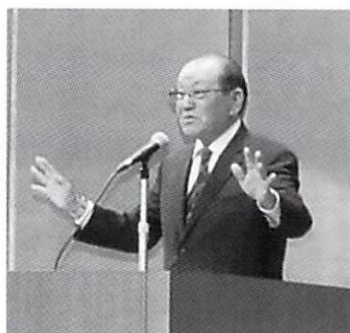
天童市文化団体協議会設立50周年を記念して、平成26年5月17日(土)、天童温泉「ほほえみの宿 滝の湯」を会場に祝賀会が開催されました。



開会のことば
天童市文化団体協議会 滝口正彦副会長



山本信治天童市長より御祝辞



天童市文化団体協議会 辻輝彦会長あいさつ



祝辞 天童緑鳳会「高砂」「最上川」



小松善雄天童市議会議長より御祝辞



祝舞 藤間流 師範 藤間 乾「日本舞踊清元 青海波」



受賞者のみなさん



受賞者を代表して、
吉田大八会 矢吹海慶会長の
ご発声により乾杯



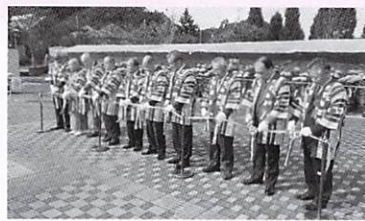
創るよるこび

深めよつわれらの文化

第51回天童市民芸術祭



●**天童コーラスフェスティバル2014**
 今年は、会場が市民プラザ「バルテ」多目的ホールで、市内で活動している合唱団のみの出演になりました。



●**第37回天童菊花展**
 第51回天童市民芸術祭参加・天童秋まつり第37回菊花展開園式テープカットの様子。(中央：山本市長)



●**乾ふじ会・鳳舞会日本舞踊合同公演**
 鳳舞会、乾ふじ会合同公演会は、日頃のお稽古の成果を発表できるとも素敵な世界です。



●**天童盆栽愛好会展示会**
 会員の丹精こめて育てた作品を、春と放しに展示してあります。広くよい会場なので作品は一段と格調高くなっています。



●**第41回天童詩吟愛好会吟詠吟舞大会詩吟の集い**
 会員300余名がバルテ大ホールにて「第41回天童市詩吟の集い」を盛會裡に開催できました。



●**BIG SWING FACE 36th RECITAL**
 YCBクリスタルサウンズ 第2回定期演奏会 JOINT CONCERT
 「錨を上げて」「チキチキバンバン」「ほのほの日和」などを演奏しました。



●**第20回大山康晴十五世名人杯争奪将棋大会**
 ●**第44回天童市市民将棋大会**
 将棋愛好家等485名参加し、盛大に開催されました。(将棋大会、次の一手、詰将棋、コマ飛ばしなど)

〈展示・発表部門〉

催物	実施期日	会場	実施団体
市民芸術祭茶会・花展	10月4日(土)～5日(日) 10:00～17:00 (最終日は16:00まで)	市民プラザ 2階市民ギャラリー	天童市茶華道連合会
赤松盆栽展	10月11日(土)～13日(月) 9:00～17:00 (最終日は15:00まで)	市民プラザ 多目的ホール	赤松盆友会
日本盆栽協会天童支部 天童盆栽愛好会 展示会	10月17日(金)～19日(日) 9:00～17:00 (最終日は16:00まで)	市民プラザ 2階市民ギャラリー	日本盆栽協会 天童盆栽愛好会
第37回天童菊花展	10月23日(水)～11月7日(金)	わくわくランド 多目的広場	天童菊の会
第51回天童市民美術展	10月28日(火)～11月2日(日) 10:00～18:00 (最終日は16:00まで)	市民プラザ 1階イベントホール 2階市民ギャラリー	村山美術・宝樹社
全日本写真連盟天童支部写真展	11月3日(月)～11月9日(日) 10:00～18:00 (最終日は16:00まで)	市民プラザ 2階市民ギャラリー	全日本写真連盟天童支部
幼児と絵描きで遊ぼう会	11月7日(金) 10:00～12:00	市民プラザ 1階イベントホール	らくがき会
第62回市民書道展	11月12日(水)～16日(日) 10:00～18:00 (最終日は16:00まで)	市民プラザ 2階市民ギャラリー	天童市書道連盟
第21回押し花額絵作品展 (押し花しおり作り無料体験)	11月20日(水)～23日(日) 10:00～18:00 (最終日は17:00まで)	市民プラザ 2階市民ギャラリー	天童押し花サークル
天童春蘭愛好会展示会	11月22日(土)～23日(日) 10:00～17:00 23日 9:00～17:00	市民プラザ 1階イベントホール	天童春蘭愛好会
第35回日本画竹馬会展	11月25日(火)～30日(日) 10:00～18:00 (最終日は16:00まで)	市民プラザ 2階市民ギャラリー	日本画 竹馬会
第34回天童書道クラブ展	12月5日(金)～12月7日(日) 10:00～18:00 (最終日は15:00まで)	市民プラザ 2階市民ギャラリー	天童書道クラブ
短歌、パッチワーク、 俳句雑誌「天童」合同展	12月12日(金)～14日(日) 10:00～17:00 (最終日は16:00まで)	市民プラザ 2階市民ギャラリー	天童短歌会 パッチワークサークル ドリームゴットン 天童俳句会 雑誌「天童」

〈音楽・演劇・舞踊部門〉

天童混声合唱団第38回定期演奏会	5月11日(日) 14:00～	市民文化会館 大ホール	天童市合唱団体連絡協議会
乾ふじ会・鳳舞会日本舞踊合同公演	7月27日(日) 12:00～16:00	市民文化会館 大ホール	乾ふじ会・舞踊連盟鳳舞会
レインボーコンサート	8月3日(日) 13:30～	市民文化会館 大ホール	若葉の音楽会
BIG SWING FACE 36th RECITAL YCBクリスタルサウンズ 第2回定期演奏会 JOINT CONCERT	8月17日(日) 15:00～	市民文化会館 大ホール	ビッグ・スウィング・フェイス YCBクリスタルサウンズ
第18回天童市琴城流大正琴愛好会発表会	11月1日(土) 13:30～15:30	市民プラザ 3階多目的ホール	天童市大正琴愛好会
天童梅若謡曲素謡大会	11月9日(日) 10:00～17:00	市民プラザ 3階多目的ホール	天童梅若竜弘会 天童緑風会 能楽あ字門の会
天童コーラスフェスティバル2014	11月16日(日) 14:00～16:00	市民プラザ 3階多目的ホール	天童合唱団体連絡協議会
第41回天童市詩吟愛好会 吟詠吟舞大会詩吟の集い	11月30日(日) 13:00～17:00	市民プラザ 3階多目的ホール	天童市詩吟愛好会連絡協議会

〈講座・民俗芸能・将棋部門〉

史跡めぐり	10月13日(月)	仙台方面	天童郷土研究会
第20回大山康晴十五世名人杯争奪将棋大会 第44回天童市市民将棋大会	10月18日(土)～19日(日) 10:00～17:00 受付 9:00～	市総合福祉センター	日本将棋連盟天童支部
第13回半日歴史散歩	11月8日(土)	矢野目方面	天童郷土研究会
文化講演会 「江戸のユーモアと国芳の魅力」	11月16日(日) 15:00～	広重美術館	天童広重研究会
佛向寺踊躍念仏公開	11月17日(月) 10:00～	佛向寺	佛向寺踊躍念仏保存会

吉田大八会



戊辰戦争での天童藩の責任を一身に負い、観月庵で自刃した吉田大八公の遺業を偲び、毎年供養を行う事と、将棋の町天童の礎を築いた吉田大八公を市民に理解して貰う事を目的としています。

年間行事として、吉田大八公の命日である6月18日午前6時より佛向寺墓参を行い、午後7時より観月庵にて法要後吉田大八を偲ぶ会を行っています。



大八公菩提寺佛向寺
「吉田大八守隆墓の字は切腹前日、大八自ら書く」

天童盆栽愛好会



近年世界的にも注目されるようになった日本伝統の盆栽を趣味にしている。天童盆栽愛好会は昭和39年、東京オリンピックの開かれた9月に発足された歴史ある団体です。

植物を独自の価値観で創造し、生活に取り入れ、自分が満足、見る人を楽しませ、人の心を癒してくれる盆栽です。

対象が生きもので、季節天候に応じた管理が大切です。いつも気がぬけません。これがやっている人の精神的に体力的に若さを保っている要因かも知れません。

趣味と生きがいを未来に継ぐべく次の事業を実施しております。

- ・学習会(講習会、視察研修会)
- ・展示会(さつき展、松柏展等)
- ・交流会(会員お柵拝見会等)

雑誌「天童」



ひとりでも多くの文章市民を!!

私たちの「みんなでつくる市民の雑誌・天童・ひろば」は、37年前の昭和53年に、「ひとりでも多くの文章市民を!!」を目標に出発しました。現在まで102号刊行しています。地域誌で、このように持続しているのは、全国的にも稀有です。その活動のなかで、これまで、山口清子、蜂谷弘、高山綾子、鈴木萬里代の各氏が市の芸文協の表彰を受けました。今年度も、三澤将良が、「天童・ひろば」に32回にわたって書き綴った「山行記」を一本にまとめた『わが山行記』で、表彰の栄を受けました。

願わくば、天童市民のひとりでも多くの方が、ペンをにぎる文章市民として、活動されんことを期待します。(鈴木実)

天童市プラス・オルケスター



平成5年に清水プラス・オルケスターの兄弟楽団として創立したのが、現在の天童市プラス・オルケスター(天童市吹奏楽愛好会吹奏楽部門)です。市内唯一の一般吹奏楽団として、愛され親しまれる吹奏楽団を目指す私達の根底にあるのは、「エンタテインメント吹奏楽団」というコンセプトであり、ジャズ・ポップス・民謡・演歌・ラテン・映画音楽からアニメソング、勿論正統的音楽まで幅広いジャンルの音楽を「お客さまとともに」楽しむという姿勢です。楽団合併に伴い平成23年に拠点を本市に移し、旧・天童市吹奏楽愛好会の全ての事業を承継したことから、団名も「天童市プラス・オルケスター」に変更し現在に至ります。今後は市の行事等にも積極的に参加し、本市唯一の一般吹奏楽団に相応しい楽団になるように邁進して参りますので、より一層のご支援をお願い申し上げます。

各団体の活動紹介

天童市 茶華道連合会



茶道・華道の伝統文化を中心に茶会、花展、市内で開催されるイベントの協賛呈茶を行う等の活動を行っている団体である。

毎年、市民文化会館を中心に和室、天心庵、展示室を活動の場とし、春、秋の『茶会、花展』で、1椀(1服)のお茶に心を和ませ味わいを感じていただき、また6流派の生け花作品を鑑賞され、花のもつ奥深さを楽しんで頂いている。『市民茶会』では、『てんどう市報』に催し案内を行い毎年多くの参加があり盛會に終わっている。桜まつり(舞鶴山山頂) 呈茶、秋まつり(わくわくランド) 呈茶、観光PRを行いながらお茶を味わって戴き市民をはじめ近隣市町、全国から訪れる観光客に満足して頂けるおもてなしを行っている。会員一同これからも地域の方々に喜んでいただける文化活動を志し、芸術文化の振興に少しでも貢献したい。

【加入流派】

茶 道 部 門: 裏千家・表千家・大日本茶道学会・正傳有楽
煎茶道部門: 方円流・三彩流
華 道 部 門: 池坊・小原流・草月流・栖草流・専慶流・龍生派

天童郷土研究会



本会は郷土の歴史を研究し、併せて会員の親睦を図ることを目的として、昭和44年(1969) 発足した。

当初は会員相互の研修の場を県内外の史跡めぐりに求めたり、会報の発行によって各自の研究を発表してきたが、各地域の歴史研究が深まり、その交流の重要性が認識されるに及んで、近年は、県内他地域や大学の研究者を招き『ふるさと歴史講座』や講演会を開催している。これらの講座や講演には会員だけでなく、多くの市民が参加し郷土の歴史について理解や関心を高めている。

また、例年教育委員会との共催で開催する『市民史跡めぐり』(昨年、支倉常長の生誕地を尋ねて) は、とりわけ市民の関心が高く、募集当日に定員になるなど人気が高い。

現在会員は63名。会員の高齢化がすすみ、会としては研究の継承をどう図って行くかが大きな課題となっている。

日本盆栽協会天童支部



日本盆栽協会天童支部は、盆栽愛好家の全国組織である一般社団法人日本盆栽協会の第111番目の支部として昭和49年5月に認証され、本年で42年を迎えます。

現在の会員数は、16名となっており、年間の活動としては、6月と10月に、市民プラザ「パルテ」において展示会を開催しており、多くの方にご来場いただいております。

また、4月から10月まで、盆栽の管理全般に関する技術の向上と、会員の親睦を深めるため、月1回の講習会を開催しております。

鉢の中に自然を描く盆栽に興味をお持ちの方、私たちと一緒に盆栽に親しんでみませんか。

天童民謡寿薔会



天童民謡寿薔会は、昭和51年6月に発足いたしました。以来40年近くの月日が流れました。民謡の盛んなりし頃は、節目節目の年には、有名ゲストを招き、発表を行ってきました。

最近では、高齢化に伴い、会員数も少なくなりました。そんな中で、毎年行われている県民謡王座大会を初めとして、各種の全国大会に積極的に出場して、優秀な成績を修めています。又、多くのボランティア活動にも参加して、忙しく活動しています。

今年度は、東北ひまわり民謡会、こぶし会との三合同交流発表会を開催しました。自慢ののどを披露し、民謡について熱く語らって、親睦を深めることが出来ました。趣味を同じくする者同士が和気藹々と民謡を語り合うのは、最高の喜びです。

これからは、若い人たちに、日本古来の伝統文化である民謡を伝承していく機会をみつけて、活躍していきたいと思っております。

※次号は天童市文化団体協議会加盟団体 No.25～32を紹介致します。

平成26年度 功勞賞・奨励賞受賞者一覧

◆功勞賞

浅沼	勝様	天童緑鳳会
若柳	翼美様	乾ふじ会
白田	尚様	天童郷土研究会
佐藤	輝夫様	天童市野草と親しむ会

◆奨励賞

今野	好子様	天童市合唱団体連絡協議会
齋藤	吉雄様	天童市書道連盟
松田	孝様	天童梅若亀弘会
齋藤	秀子様	天童市詩吟愛好会連絡協議会
奥山	香楓様	天童市茶華道連合会
室岡	圭子様	天童民謡寿薔会
三澤	將良様	雑誌「天童」
松若	寿玲慶様	舞踊連盟鳳舞会



天童の文化探訪 3

●寺津手人形芝居

寺津手人形芝居は、明治時代の中期、寺津地域の仲島喜五郎がそれまで養祖父以来伝わっていた人形遣いについて、父親の忠次郎と共に「仲島人形芝居二座」を結成したのが始まりと言われている。

「仲島人形芝居二座」は、昭和28年の興行を最後として姿を消したが、近年、寺津地域の有志が「寺津手人形保存会」を結成し、人形芝居を継承した。

手人形の頭(かしら)の制作者は、山形の渋江長四郎や新庄の初代野川陽山、江戸浅草の出身と伝えられている神保平五郎などが知られている。



その後、寺津手人形芝居は、平成2年4月に天童市の無形民俗文化財に指定され、また、平成25年10月には、寺津手人形関係資料が天童市の有形民俗文化財に指定されていることから、大変貴重な文化財である。

【編集後記】

この度皆様の温かいご協力のもと、天童市文化団体広報誌「きらめき」3号が完成しました。今年度は、「天童市文化団体協議会 設立50周年」を迎え、また第51回市民芸術祭が開催されました。天童市文化団体協議会にとって大きな節目の年でありました。その記録を記念誌「歩み」に掲載し発行しました。これもひとえに編集委員の皆様はじめ文化団体協議会の方々、そして何より天童市民の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

世の中の激変を逞しく乗り越える為には、心の豊かさや個性の尊重が不可欠です。私達はそれぞれの文化芸術を豊かに構築していけるライフスタイルを目指していきたいと思っております。その一助として「きらめき」がお役にたてれば幸いです。

編集委員長：松村昌子

◆編集委員…伊藤有光、森 睦、松田壽美恵、大江義晴、西尾秀男、高梨 富、川崎慎之介、吉見勝義、森川慶子、山口清志、松若寿恵玲、佐野宗鶴、伊藤寛二、水戸昭吾



きらめき

題字
鈴木千岳